

幼稚園教諭へのアンケート回答から見えてくるもの ～教員養成課程の学びの中で役立った事とITスキルに関する助言～

A Study of the questionnaire survey among kindergarten teachers
—Useful learning during undergraduate student and some consult
on IT skill development—

棟上 俊二

高杉 洋史

高杉 美稚子

Shunji TOJO

Hiroshi TAKASUGI

Michiko TAKASUGI

福岡教育大学理科教育ユニット

玄海ゆりの樹幼稚園

吉塚ゆりの樹幼稚園

(令和3年9月30日受付, 令和3年12月23日受理)

幼稚園教諭として必要な資質を問うアンケート調査を行った結果, ITスキル, ピアノ技能, 手遊びが重要である事が判明した。また, 心理学や保育実践演習といった具体的科目名の指摘も見られた。社会人としてのマナーや礼儀の必要性も指摘されたが, これらは大学・短大の教育課程で扱う事は難しい。ITスキルの中で忘れられているのがカナ入力の重要性であり, 棟上(2021)での議論に準じている。

キーワード: 幼児教育, 保育, 幼稚園教諭の養成, PC技能, カナ入力

1. はじめに

棟上ほか(2022)でのアンケート調査の後半部分の結果について研究を行った。ここでは幼稚園教諭として必要なスキルは何であるかをアンケートから読み解いてゆきたい。すなわち, 今後の大学における幼稚園教諭の教育課程として何を掘り下げて学ぶべきか探る事を目的としている。そしてその中でクローズアップされてきたのがPCスキル(ITスキル)であるが, それに関してさらに深めた議論をおこなう。

2. アンケート

棟上ほか(2022)のアンケートは3部構成となっており, その第3部が本論で扱うものとなる。第3部は2つの設問から構成されている。設問3-1は「幼稚園教諭免許を取得する課程の中で学んだことのうち, 実際に勤務してから特に役立ったというものがあれば, 最大5項目以内で例を挙げてご回答下さい。単に科目名だけではな

く, 具体的な内容についてお願い致します。], そして設問3-2は逆に「幼稚園教諭として勤務する前に, 学生の時に学んできて欲しい事があれば教えて下さい。大学で学べないようなことでも構いません。」という調査で, 幼稚園教諭の資質についてストレートに問いかけている。第1部・第2部の回答(棟上ほか, 2022)との関連性については, 特に検定等はおこなっていないが, 一見してなさそうであったので特に考慮はしなかった。

3. 結果

設問3-1については, かなりコーディングがし易いものであったので, 類型化しその回答数を計数した(表1)。

その中でも最も頻度が高かったものはPCのワード・エクセル・パワーポイントで, 15名から指摘されたものである。大学・短大により, PC使用法の指導の力の入れ方には程度の違いがあるものと考えた方が自然な事と考えられる。本

表1. 設問3-1の結果(類型化済)

順位	類型	出現数
1	PC技能 (Word, Excel, PowerPoint)	15
2	ピアノ	14
2	手遊び	14
4	表現力 (話法や演技)	11
5	心理学 (園児または保護者)	10
6	図工・製作	9
6	保護者対応関連	9
8	応急処置法・学校保健関連	8
8	実習	8
10	指導案	5
10	体育 (体遊び)	5
12	子どもの発達に関する科目	4
13	特別支援関連	3
13	保育実践演習 (科目名)	3

学では情報機器の操作(2単位必修)という科目があるが、課程やコースにより独自のカリキュラムが構成されている。近年は情報リテラシーやコンプライアンスにも時間を割かなければならないことがあるが、2単位15回の授業ではどうしてもできることは限られており、学生からの話を聞くとワードのルーラーの使用法すら説明されていないようである。

次に多かったのは「ピアノ」と「手遊び」である。36人中14名がピアノを大学・短大で練習しておいて良かったと述べている。手遊びについては大学・短大の授業で扱ったところもあるようだが、実習中に現場を通して学んだ者もいたようである。本学で手遊びを教えている授業があるかは不明であるが、幼稚園に勤務する上で相当に役立つようである。

その次の「表現力」というのはやや抽象的なものとして類型化したもので、教室内での発話としての表現や、自ら何らかの演技をする場合の表現、あるいは保護者へ説明する場面での表現力などを含んでおり、かなり幅広いものとなっている。

第5位に心理学とあるのは、科目名としての心理学であり、〇〇心理などの類似性があるものを纏めて数えている。この中には保護者対応のために心理学が役立っていると述べられているものが少なくない。

第6位の図工・製作も幅広く捉えている。園児

の工作から教諭の製作まで様々なものが園では行われている。同位の保護者対応というのは、どの大学・短大でおこなわれているかまでは調査していないが、回答中の具体的文言を紹介すると「教育相談(保護者対応を実践して、生徒同士で想定してテーマをもとに、やりとりを考えたのが学びになった。話し方や言い回しなど難しかった。)」と述べられており、かなり実践的な演習を行っている授業があることがわかった。第8位の学校保健関連は時節柄か感染症対策まで含まれる様相である。同位の実習は、単に実習という回答は当然カウントし、「実習の中の〇〇、例えば工作とか保護者対応など」といったものは該当する複数の項目がカウントされている。

一番下の欄になってしまったが、保育実践演習というのは、本学では教職実践演習として行われているものを短大では保育実践演習と呼んでいるようである。具体的な記述には「教授が撮ってきた様々な園の写真(お鞆棚、お道具棚、お部屋の環境構成など)や、動画(喧嘩をしている幼児の様子やその仲介をしている職員の様子)を見て、【なぜそうなのか?】を考察する授業。現場に出て、環境構成を考える際に役だった。」とあり、科目としての特性というよりも、授業者の優れた工夫が印象に残った事例と考えられる。恐らく他大学の事例と思われ、とはいえこれだけ実践的な授業を、卒業年度に行うとは、相当に教員養成に力を入れていると思われ、本学でも参考にすべき点も多いのではないだろうか?

また、回答数3未満のものは類型とはしなかったが、そういったもので特に興味深い意見があったので以下に紹介してみたい。

「音楽編集、CDへの音楽の取り込みなど」

流石にアナログのテープレコーダーを使用しているところはもはやないだろうと思われる。つまりこれもPCスキルの一つで、アナログ音声の取り込みやCDのリッピング、そして音声ファイルの編集といった、従来のPCスキルには無かったものでも既に幼稚園の現場で必要とされるのは注目に値する。また、近年のPCの進歩を考慮すれば今後動画を扱う事になる事を想定しておくべきであろう。

「オペレッタ劇を通しての、演じ手が楽しむだけでなく見る側に分かりやすく伝えられる構成方法など」

劇を行う事は幼稚園での行事として自然なもの

であるが、調査を行った園ではミュージカルまたはオペレッタと称するものを年に1回行っている。クラス毎の演目なので、クラスの担任には負担の大きいイベントのように見受けられる。

「メモを取る力」

PCスキルが大切だと述べたばかりであるが、やはりメモは不滅のようである。これには文字を素早く筆記することは勿論のこと、字数を減らすよう要約するなどの高等な思考作業を伴う場合もあるだろう。

「子ども福祉関係：世の中の家庭環境や、家庭内の厳しい現状を知ることができた。また、その家庭への援助や、支援の仕方を学んだおかげで、実際に、自分のクラスで厳しい家庭環境の子どもがいる際に、どんな対応や援助が求められているのか、冷静に考えることができた。」

学校もそうであるが幼稚園も様々な家庭の子どもが集まってきている。特に園児は家庭の影響が強いので、保護者との連絡の重要性は格段に高いのであろう。

「小学校の科目→年長クラスの担任になったため、幼稚園の時から必要な小学校に向けての準備について知ることができた。」

小学校免許を並行して取得する本学のカリキュラムが妥当である事の証明となるものである。

設問3-2は逆に「幼稚園教諭として勤務する前に、学生の時に学んできて欲しい事があれば教えて下さい。大学で学べないようなことでも構いません。」という質問をしている。回答の大部分は設問3-1と同様であったが、いくつかの特徴的な回答事例を表2に示す。

a～cはある意味、幼稚園教諭としての専門的なもので、大学・短大で学ぶべき内容と考えられる。d～fはやや教員個人のパーソナリティーに関連するもので、性格的なものとも考えられ、他者が干渉するのは困難なもののように思われる。学生に対しては情報として伝えた方が良く思われるが、伝え方には何らかの工夫が必要と考えられるものである。

g～nは社会人スキルであり、これも実習などでは要求される機会が良くあるが、大学の授業で扱うのに適しているとはいいいにくいものである。どうしても「こういうことには注意して下さい」といった注意喚起になりがちで、果たして学生が

表2. 設問3-2の主な回答

a	子供の意欲を引き出すためにどのような関わり方をしたらよいか
b	いろんな園の環境構成についてもっと知りたかった（子供たちの遊び場や保育室などいろんな園のことが知りたいと思った。）
c	気になる子や自閉症等の子どもへの対応方法
d	何事にも挑戦し、向上心がある心
e	意思 こうなりたいといった意思があったら、普段の生活から楽しめると思うのでいいと思います。
f	怪我や体調の変化の臨機応変な対応力
g	上司との関わり（お友達ではないので、話し言葉、率先して行動するなど・・・）
h	敬語を使えるようになる
i	次の人のことを考えて行動する（ペーパーがなくなったら変える、少なくなったら予備を置くなど）
j	挨拶、返事が気持ちよく出来る、一緒にいるだけで元気になれる。
k	ハウレンソウ（報告・連絡・相談）の重要性
l	固定電話の使い方
m	デジカメでの写真の撮り方
n	整理整頓、掃除の仕方
o	基本的な一般教養

実践できるかは、ある意味学生に任されているといえる。

最後のoは、大学でもかなり教えているが、一朝一夕に身につくものではなく、学び続ける姿勢が問われてくるものである。

この設問については、マナーや向上心といった、やや精神論的な傾向のものもあり、それも幼稚園教諭に必要な資質の一側面として捉えていいのではないだろうか。大学教育の場でそういった事に関して指導ができれば良いのかも知れないが、大学も自由な教育が難しくなりつつあり、さらなる工夫が求められている。

4. IT スキルに関する助言

設問3-1で1位となったPC技能は表現としてはやや古風なもので、今風にはITスキルと呼んだ方が良いだろう。IT機器に馴染めない人が存在する一方、そういった機械ものをすらすらと使える人も居る。そういった違いはどこから来るのか。使える人の視座から読み解けば、「マニュアルを読めば良い」ということである。IT機器が苦手という人の事を見て、マニュアルもろくに見ないのは努力が足りないのでは、と冷やかな視線を向けがちになってしまう。つまりIT技能修得イコール大量のマニュアルを読みこなして使い方を覚えるということが求められてきた。しかし、不得手な人から見ると、恐らくマニュアルというものは言語とは言い難い記号の羅列にしかみえないのではないだろうか。例えばメタ構文変数（後述）というものがあるが、これが初心者には

良くないと主張する意見も Web 上で複数見受けられる。これはいわば PC の視点に立って考える事で解決できるのではないかと推察している。つまり理科教育でいうところの視点移動の応用であるが、この点についてはまだ議論の余地があると思われるので、稿を改めて議論したい。

図 1 は設問 1-3 で PC が好きかを 0～5 の 6 段階評価で尋ねている (5 が最高)。これを見ると半数近くが PC を好む傾向があり、否定的な意見は 6% に留まった。マニュアルに関する話以前にキーボードアレルギーという言葉もあるが、これも一説によると 1980 年代～1990 年代の言葉とされているが、果たしてこの問題は解消したとみて良いのだろうか。長澤 (2019) では、現代の若者は実は PC のキーボードに苦手意識があるということ、その代わりに主な日本語入力手段としてフリック入力を用いられていることなどのデータが示されている。フリック入力はスマートフォンで主に用いられている文字の入力方法で、かな入力の一種である (日本語モード時) ため、現代の若者をキーボードに順応させるためにはかな入力を覚えさせた方が良いのではないかとという提案が棟上 (2021) でなされている。ローマ字入力に比べてかな入力はキーボードの配列をより多く覚えなければならない、という主張はしばしば随所で目にする可能性がある。確かに数字とアルファベットだけでは 36 鍵に対して、仮名文字は 47 鍵となり増えている印象があるが、より冷静にキーボードを観察すれば、アルファベットと数字のキーの他は括弧などの記号類として英数配列でも全て割り

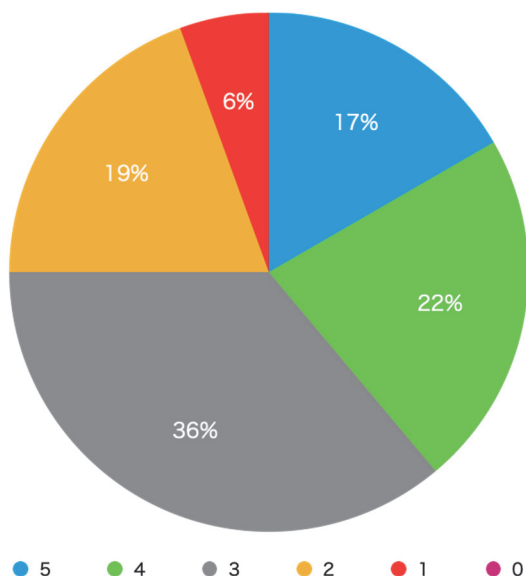


図 1. 設問 1-3 の主な回答と分析

当てずみで、使ううちに結局覚えてしまうものであり、かな入力だから鍵数が増えるということは実際にはあり得ないもので、単なる言い訳としか解釈のしようがない。

設問 1-4 で日本語入力の時にかな入力とローマ字入力のどちらを使うか調査したが、その結果は 100% ローマ字入力であった。これも棟上 (2021) では小学校でローマ字入力しか教えていないのが原因として指摘した。歴史的には PC で日本語入力ができるようになった最初期ではかな入力を覚えることの重要性を論じている文献 (山本, 1981) もあったが、それがいつの間にかローマ字入力に入れ替わってしまったのである。恐らくそれは、当時のパソコン (PC) のほとんどは MS-DOS とよばれる基盤ソフト (=OS) で動作していたが、例えば一太郎という応用ソフト (=アプリ) を動作させようとした場合は

¥C> JXW

とアルファベットの語を入力することで起動させていた。また、ファイルをコピーする場合は、

¥C> COPY OleFileName NewFileName

と入力しなければならなかった。ファイル名は 8.3 型式と呼ばれるもので、8 文字以内 (半角英数) の名前にファイル拡張子と呼ばれる 3 文字記号をくっつける形しか許容されなかった。また、「OleFileName」、「NewFileName」が先述のメタ構文変数であるが、現代の PC 利用者には全く理解不要であろう。このように、PC の基本的操作は開発国 (米国) の仕様そのままにアルファベットでのみ行われていたので、英文配列に習熟する事は必須であったのは確かである。日本語入力はアプリを起動した後で使われるものであった。OS を操作するときは英数配列で日本語を入力するときはかな配列というのは、両方を覚えるのは一見効率が悪いように思われたのであろう。従ってその合理的解決策としてローマ字入力が普及してきたものと思われ (例えば、中山ほか 1983; 棟上, 2021)、現在に至っているものと考えられる。

しかし現代のコンピュータは、そういった太古のシステムからは一線を画して、「マウス」と図的デザインにより構成される「アイコン」そしてマルチウィンドウと呼ばれる、複数の作業を同時に扱う様子を画面に具象的に表示する機構 (Graphical User Interface, GUI と略される) が

標準的に装備されるモノへと進化を果たした。このことで一般への普及が急速に進んだ事も歴史上の出来事となりつつある。しかしこのシステムの進歩が我々を英数の入力からほぼ完全に開放してくれたことは、今のところ全く取り上げられることは無いようであるので、ここで大いに注目すべきと主張したい。つまり、業務の内容としてどのくらい英数字の入力が求められるか、まずは小学校で必修化されているプログラミングについては、最も普及している「スクラッチ」は命令語をマウスで選ぶだけでよく、日本語化もしている(図2)。園において英数字入力が必要となるのは恐らくは発注時の商品番号の入力として残ることが考えられる(但し漢字変換プログラムは「えー」の入力に対して“A A”としっかり対応してくる)のと、もう一つはログインする場合にユーザー名を入力する所が最後まで残る可能性もある。パスワードはそのまま仮名文字打鍵すれば良いのであり、例えば

f[r0Ys@

というのはカナ入力であれば「パスワード」と打鍵されるもので、簡単な単語を使用してはならないというパスワードのルールをクリアしているように見えてしまう。実際自分の名前を打っても

「強固なパスワード」と高評価してくれる。しかし、侵入者の側はこの様な姑息な手段は既に見越していると考えておく必要もあるだろう。とはいえ日本語の表現は非常に幅広く、語尾に付ける助動詞も地方により、表3のように変化させることができ、その分パスワードも破りにくくなる。インターネットの URL もアルファベットで表記されてきたが、“福教大.jp”でホームページにアクセスすることも既に可能となっている。(その機能を利用していないだけの問題で、図3にあるように、福教大.jp は2017年に登録済み。)未知のホームページの URL にしても、検索エンジンの進歩と QR コードの発明により既に URL を入力すること自体行われなくなっているのではないだろうか。

中山ほか(1983)ではローマ字入力だとカナ入力に比べて1.87倍打鍵数が増えるの見込んでいる。この労力の増加は馬鹿に出来ないものがある。勿論 JIS キーボードのカナキー配列の不合理性を否定するものではないが、規格として広く浸透してしまっているものに対しては優れた改良版をもってしても覆すことは極めて困難である。慣れてしまえば不合理な JIS 配列でも結構実用になるし、英数キーボードの QWERTY 配列も不合理といわれているが欧米人もこの配列で十分実用的に利用しており、この程度は人間の対応能力の

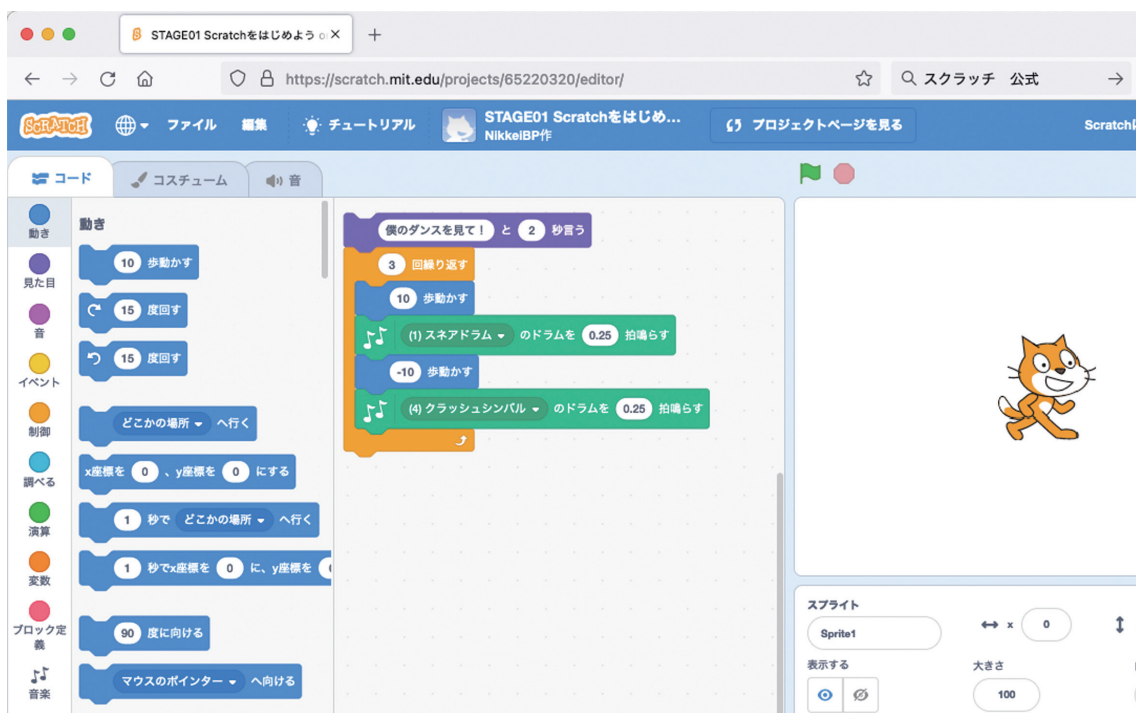


図2. スクラッチの画面の例 (MIT, 2015)

表3. 名詞を断定する表現の地域差とカナ配列とみなして英数キーボードで打鍵した結果

語尾変化	打鍵	地域
だ	q@	東京
だへ	q@^	茨城
たべ	q@^@	関東一円
だっぺ	q@Z{	茨城
ずら	r@o	静岡
や	7	大阪
じゃ	d@'	岡山
ちゃ	a'	小倉
ばい	f@e	福岡
たい	qe	福岡
くさ	hx	福岡
やろー	7_¥	長崎

WHOISについての一般的な説明は「[Whoisとは?](#)」をご覧ください。

検索タイプ 検索キーワード
ドメイン名情報 福教大.JP 検索 検索方法

Domain Information: [ドメイン情報]
[ドメイン名] 福教大.JP
[Domain Name] XN--PSSR7ZQXP.JP

[登録者名] 国立大学法人 福岡教育大学
[Registrant] National University Corporation University of Teacher Education Fukuoka

[Name Server] ns1-03.azure-dns.com
[Name Server] ns2-03.azure-dns.net
[Name Server] ns3-03.azure-dns.org
[Name Server] ns4-03.azure-dns.info
[Signing Key] dns-x.sinet.ad.jp

[登録年月日] 2017/08/23
[有効期限] 2022/08/31
[状態] Active
[最終更新] 2021/09/01 01:05:10 (JST)

Contact Information: [公開連絡窓口]
[名前] 株式会社
[Name] 株式会社
[Email] 株式会社
[Web Page] 株式会社
[郵便番号] 株式会社
[住所] 株式会社

[Postal Address] 株式会社

[電話番号] 株式会社
[FAX番号] 株式会社

株式会社日本レジストリサービス Copyright© Japan Registry Services Co., Ltd.
プライバシーポリシー | 著作権 | お問い合わせ: info@jprs.jp

図3. 福教大.JPのドメイン情報、日本レジストリサービスのWhoisで公開されている情報のスクリーンショット。他に福岡教育大学.jpと福岡教育大.jpも登録済みである。

範囲内と捉えることが出来るのではなかろうか。

しかし、カナ入力を覚えることのさらに重要な点は、よりストレートに思考し、それを入力に反映させることで文章作成がより円滑に進行することであり、それによりPCは思考のツールとしての性質を有するという点を強調しておきたい(奥出, 1990; 棟上, 2001)。

5. 結論

幼稚園教諭になるための重要なスキルはITスキルとピアノ、手遊び、そして礼儀作法などもよく知っておく必要がある。そして棟上(2021)によるとITスキルで重要なものはカナキーボードで打鍵できるようになるということである。

引用文献

Massachusetts Institute of Technology (2015): Scratchをはじめよう, STAGE01, <https://scratch.mit.edu/projects/65220320> (2021年9月30日閲覧)

中山 剛・黒須正明・中島 晃 (1983): 日本語入力方式の評価, 日立評論, 第65巻(11), 765-768.

長澤直子 (2019): 日本語入力から見る“PC”が使えない大学生問題, コンピュータ&エデュケーション, 46, 58-63.

奥出直人 (1990): 物書きがコンピューターに出会うとき, 河出書房新社, 253pp.

棟上俊二 (2021): 地学教育から考える, 教育学部におけるICT教育の方向性の提案 -ローマ字入力とはもはやその役割を終えたか-, 福岡教育大学紀要, 第70号 第6分冊, 15-21.

棟上俊二・高杉洋史・高杉美稚子 (2022): 領域「環境」に関する保育実践の研究~幼稚園教諭へのアンケート調査から~. 福岡教育大学紀要, 第71号 第4分冊, *in press*.

山本直三 (1981): 日本語ワードプロセッサの利用形態. オフィス・オートメーション, 2(3), 24-29.